

重点調査空港の公募要領

1. 公募の目的

空港の脱炭素化に向け、空港施設・空港車両からのCO2排出削減の取組みを進めるとともに、空港の再エネ拠点化等について具体的な検討を進めていくため、特に意欲的な空港を公募し、各空港の特性に応じた取組内容の検証や事業スキーム構築等について事例的・実証的な調査を行い、もって全国の空港におけるCO2排出削減に資する検討を行う。

2. 重点調査の概要

重点調査空港に選定された空港において、CO2排出削減の取組内容、削減効果、実施体制、事業スキーム、事業実現性及び経済合理性等について検証する。

なお、選定された空港は航空局発注業務において、ケーススタディを実施する。

3. 公募期間

- ・公募開始日：令和3年6月 4日（金）
- ・公募締切日：令和3年6月28日（月） 17時必着

4. 公募対象

全国の空港を対象とする（空港単位もしくは複数空港のグループでの申請も可）

※応募者は空港管理者、空港運営権者、エコエアポート協議会

※応募者はグループでの申請を行う場合、当該空港の関係者をとりまとめて提出

5. 提出書類

企画書に必要な書類は、以下（1）～（3）のとおり。

なお、提出先は「11. 問い合わせ先」へ電子メールにより提出すること。

- （1）企画書（様式－1）【Word】
- （2）企画書の概要資料（様式－2）【PowerPoint】
- （3）参考資料（必要に応じて添付）、企画内容と関連性の低い参考資料の添付は避けること。

6. 企画書の内容

- ① 空港の脱炭素化に向けた取組方針
- ② CO2排出削減にかかる現状・課題
- ③ CO2排出削減の目標
- ④ 目標達成に向けた具体的な取組内容、スケジュール、効果の見込み等
以下のテーマから選択（複数回答可）し、それぞれについて記載すること。

必須項目		任意項目				
太陽光発電の導入	施設・車両のCO2削減対策	太陽光以外の再エネ導入	水素の利活用	CO2吸収源対策	地域連携・レジリエンス強化	その他（自由提案）

- ⑤ 空港関係者や電力関連の事業者等を含む事業実施体制・役割分担案

なお、内容等に不明確な部分がある場合等は、ヒアリング等を行う場合がある。

7. 選定方法

- ・申請を行う応募者が公募対象であることの確認をします。
- ・応募者から提出された企画書の内容を審査・評価し、有識者会議を通じて、航空局において決定する。
なお、審査・評価は以下の観点から行う。

- ・重点調査の目的との整合性
- ・提案内容の充実度、論理性、独自性
- ・事業間連携や地域特性の考慮

9. 選定結果の通知及び公表について

選定結果については、重点調査空港の選定後速やかに、選定された応募者に対し通知するとともに、国土交通省航空局のホームページ等で公表を行う。

10. スケジュール

- ・企画書の提出期限 令和3年6月28日（月）17時（必着）
- ・選定結果の公表及び通知 令和3年7月頃
- ・重点調査の期間 令和3年8月頃開始

11. 問い合わせ先

本公募要領、提出書類に関する問い合わせ先は以下のとおり。

なお、電子メールによる書類提出後に、電話により担当者へ確認を行うこと。

- ・国土交通省 航空局 航空ネットワーク部 空港計画課、空港技術課
担当：濱本、吉崎

TEL：03-5253-8111（内線 49226、49254）

E-mail：hamamoto-s97h3@mlit.go.jp、yoshizaki-h8910@mlit.go.jp